

ひろば 大代

No. 5 4 7

令和7年2月号

大田市の人口
(R7. 2. 1 現在)
大田市 30,974 人
内大代町 282 人
男 134 人
女 148 人

大代町内の石垣と石工③

大田市教育委員会石見銀山課
新川 隆

大代町の石垣について、これまでの二回は町内の神社の石垣を紹介しましたが、今回は大家地区下市に鎮座する浄土寺の石垣を紹介したいと思います。浄土寺は文明元（一四六九）年に創建されたと伝わる古刹で、町内でも有数の規模を誇ります。町のメインストリートとの起点となる位置に所在することからも、町にとって重要なお寺であったことが容易に推定できます。現在の建物が創建当時から現在地に有ったかどうかは不明ですが、石垣を見ると歴史の一端をうかがうことができます。

山門に向かって右手の石垣は、近年

築き直された新しいものですが、山門に向かって左側の石垣には古い石積みが残っています。残念ながら、造られた正確な年代はよく分かりませんが、よく見るとある特徴があることがわかります。

その石垣は、上部と下部で石の積み方が異なっているのです。底部から概ね三分の一まではかなり大きな石を乱積しているのに対し、それより上部はやや小ぶりの割り石を積んでいます。



浄土寺の石垣（赤いラインの上下で積み方が違ってきます）

また、下部は石垣の傾斜が比較的緩やかなのに対し、上部は垂直に近くまで立ち上がり、扇の勾配とも呼ばれる反りを持った石垣となっています。

扇の勾配とは、お城の石垣などで見られる積み方で、築城の名手と言われる加藤清正が得意としたことでも知られています。侵入者を防ぐことを目的としており、上部に行くほど上り難くなる石垣です。

浄土寺の石垣が侵入者の防止を意図したものとは思えませんが、結果的に反りを持つ石垣となっています。

この石垣の特徴は上部と下部で石の大きさや積み方が違うことで、上部の石垣は積みなおされたと考えられることから、少なくとも一度は石垣の改修が行われていると思われます。

下の石垣に使われている石は町内で確認されている石垣の中でも最も大きく、石清水八幡宮の石垣の石より大きなものです。上部の石垣は積み方の特徴から一八世紀後半以降と思われることから、下部の石垣はそれ以前の石垣と考えられます。

下部の石垣に使われている石材は自然石に近いものが多く、いわゆる野ずら積みと言われる積み方と言えます。

こうしたことから、下部の石垣は江戸時代前期から中期にかけて築かれた可能性ががあります。

その後、石垣の崩落や敷地の改修などにより、上部の石垣が積み増されたのでしよう。

現在の本堂がいつ頃建てられたものは、棟札等を確認していないためよく分かりませんが、上部の石垣が築かれた時期と同時かそれ以降のものでしよう。

現在は、山門に向かって階段も造られています。これも上部の石垣を構築する際に合わせて築かれたものと考えられます。

石垣調査の時点では、浄土寺の古文書や棟札などについて、調査が行えませんでした。お寺の来歴や大代の歴史を明らかにするためにはこれらの調査も不可欠です。

普段、なにげなく見ている石垣ですが、注意深く観察するといろんなこと

が分かるので、近くの石垣も見直してみると面白いかもしれませんね。

満100歳を迎えられた方への

お祝いのご報告

大代地区社会福祉協議会

1月23日、下飯谷自治会の「下垣五枝さん」が満100歳を迎えられました。大変おめでとうございます。そこで大代地区社協として、同日、地区社協委員各自のお祝いのメッセージ入り「色紙」と「記念品」を贈らせていただきました。昨年、敬老会では、満100歳の方のご出席をいただき、大変嬉しく感じたことを思い出しました。今後、この大代にあっても、皆様各位が満100歳以上生きられご誕生日にお祝いさせていただきます。楽しんでいきます。



還暦を迎えるに当たって

上飯谷 武田 穰

正月になんと我が家のぼろ屋にお猿さんが三十四くらいお越しいただき、全員が尻と顔を向けて微笑んでいるという：夢をみた。焦りと不安で一気に見が覚める。手元の時計は午前三時を少々、回ったところ：であった。常用薬を飲み静かに先ほどまで見ていた夢を思い返す。赤色?! うーん そうか還暦迎えるにあたりお猿さんが祝福にやってくるくれたのだとポジティブに考えることにした。還暦は赤子に戻るのだから。なんせ昨年未で屋根に係るお仕事にお別れして気のみ気ままに時間を気にせずにプー太郎生活を満喫している最中である。今までが職業柄、屋根ばっかりを気にして、歩き回っていた。それをしなくていいので、存分に今までの営業先で気になっていた旧跡地や名勝地を十二分に楽しめることがうれしくてならない。

自分の過去を振り返ってみると、とにかく都会に行ってみたいとの一心で



大阪に飛び出た十八歳。学業などほったからしでバイトに精を出す毎日。一応就職もして結婚もして、さあこれからって時に相方とお別れ…。それを機に大田市に舞い戻ってきた次第である。ああーあれから三十年、お天道様も見てくれていたのでしょうか？二回目の結婚もさせて頂き、さいーこれから！ってえ時にまた相方とお別れになってしまつて…。またまた独身生活八年目を迎えることに。酒の肴をつまみ、一献を傾けていますと見事に普通ではない人生を送っているのだから、もつと稀有なことが起こるように起こすように区切りとする古希に向かって日々を過ごしていこうと考える。赤ワインを傾けて想いにふける。ア！そうそう、古希の祝の色は紫、《人生古来稀なり》といいますが、これは通過点として九十歳までは生きてやろうと企んでおる次第である。そのためにはストレスのない一献を傾ける仲間をもち、適度な欲を持ち、常におもろいじいちゃんであるように努めると達成できるような気がしてならない今日この頃である。

小さなボランティア

下飯谷 高村節雄

私が献血を知ったのは、昭和48年12月頃になります。山口県でグラウンド脇にバスが駐車していました。何のバスかと先輩に尋ねると「輸血が必要な人の為に県内を回り、血液を集めている車だよ。君も若いから献血して貢献したらいいよ。」と教えてもらったのを覚えています。興味本位で200mlの献血をして牛乳と紙の献血手帳を初めて貰いました。

その後、献血の種類も400mlの献血、成分献血と進化し、献血手帳も献血カードになり現在は献血アプリ「ラブラッド」への移行も進んでいます。血液の検査結果を簡単に知ることでもでき予約もでき便利です。何より自分自身の健康管理に最適です。

五年前に看護師さんに助言をいただき成分献血と400mlの献血を組み合わせながら令和2年3月21日に100回を達成する事が出来ました。

その後も続けていきましたが、献血可

能年齢には勝てず70歳の一日前、本年2月2日166回目の献血が最後になりました。先生や、看護師さんの「大田の遠いところからありがとうございます。」「気を付けて帰ってくださいね」の言葉も聞けなくなりました。

50年余りの間に記念品を、10回・20回・50回にはガラス製の盃を、70回は、銀色有功章・100回は金色有功章をそれぞれ感謝状と共に頂きました。

妻に「趣味が減って気が抜けないようにね」と言われましたが、これらの記念品で皆と楽しく呑みながら喋っていたころと思



まちセンイベント
新年わくわく会&おとなの新年会



おとなの新年会

四日市 竹島 修

昨年の高山会定例会で永井センター長よりこの会のお話がありました。昔（何年前のことかな）は、このような会があったそうです。

私の記憶には、かすかに有る様な、

無い様な感じでした。確かに昔は、会合といえば飲みを伴う会が普通にあつたような気がします。パンデミックや諸事情により飲みにケーションという言葉が死語になりつつありますが私は、いいんじゃないと思いました。・・・ただの酒好きかも？

当日は、天候にも恵まれ集まったメンバーは、センター長、連合会長はじめよく見知った顔ぶれでした。温泉津の榎さんのお弁当で和気藹々と話し杯を重ねて行きました。和やかななか会も進み席を回ってお酒を注ぐ人、席から離れ話に興じる人と様々、楽しい一時を過ごしました。

特に何か決める会ではなく若いも若きも杯をかたむけ和やかに様々な話をする、この様な会が高齢化が進み世代間の交流が減少する中、大代を活性化する一つの起爆剤となるのではないのでしょうか。今後この様な会が定期的に行われ多くの人が集われる事を切に望みます。皆さん飲みが全てではありませんがこの様な会、とても良くないですか。

俳句

あすなろ句会

川上 岩田律枝

立春や気持ちほっこり里の朝
ひな菊の庭のあちこちつぼみあり

井田 山田松三郎

雨一日どきどきと雪しづるかな
凍て解けや大急がしの厨ごと

上市 横田美恵子

除雪してスコップの下にふきのとう
蟬梅の話題はずんだ地域会

3月行事予定



▼ 2日（日）福祉弁当

▼ 17日（月）お楽しみ会

▼ 22日（土）大代高山会定例会

▼ 24日（月）言事部

えびすの会

6日・13日・27日（木）

13時30分～15時30分（冬季は午後開催）

※行事は延期・中止になる場合があります。